



●令和5年6月19日、応急措置の施工状況等について技術的検証委員による現場確認を実施した。

1. 応急措置施工状況について

- ①盛り土除去
 - ・法面整形工、土砂搬出を6月7日までに完了。
- ②排水対策
 - ・横ボーリング工（7孔）、小段排水工（頂部、1～3段目）縦排水工を6月7日までに完了。



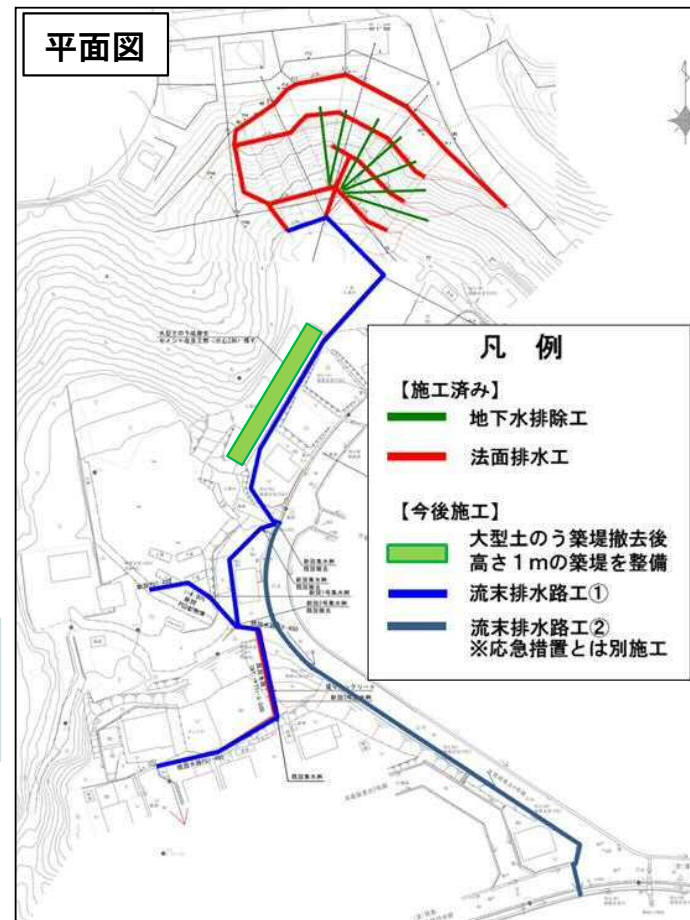
2. 各種観測データ等について

- ①地盤伸縮計・地盤傾斜計
 - ・令和5年1月の観測開始後、降雨後においても変動は無し。
- ②地下水位計
 - ・盛り土除去前の令和4年11月の降雨時（累積89mm）には水位上昇を観測。その後、15日程度をかけて平常時水位まで緩やかに低下。
 - ・盛り土除去後（横ボーリング施工後）の6月2日の降雨時（累積441mm）も水位上昇を観測。その後、5日後に平常時水位まで低下。
- ③6月2日の豪雨（累積441mm※台風第15号は累積281mm）の影響による法面の変状は無し。横ボーリング工の7孔全てで排水を確認。

小段排水工等により表面水は適切に処理され法面内への浸透を抑制、横ボーリング工による速やかな水位低下効果を確認。
【委員の意見】安全性が確保されていると判断。

3. 今後の予定

- ・応急措置の排水対策に引き続き、流末排水路を改良整備。
- ・仮設で設置した大型土のうを撤去し同位置へ高さ1mの築堤。
- ・現場外へ搬出した盛り土は廃棄物等を振り分けし適正に処分。
- ・令和5年度末までには完了予定。



【R5.6.19 技術的検証委員現場確認状況】

